

交野市学校施設等管理計画（素案）パブリックコメント結果概要

注）本計画（素案）は「交野市学校規模適正化基本計画（素案）」と同時期にパブリックコメントを実施しており、いずれの計画に対する意見かの記載がないものは、該当する項目に整理いたしました。

また、「交野市学校規模適正化基本計画（素案）」と本計画（素案）に共通する意見は、「交野市学校規模適正化基本計画（素案）パブリックコメント結果概要」の項目にまとめて記載いたしました。

（１）計画の背景・目的等

1件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
・子どもたちの安全、教育環境、地域住民の緊急避難場所としても老朽化した校舎の整備、建て替え、改修も緊急課題です。	本市の学校施設の大半が築後 30 年以上経過しており、改修・更新の時期を迎えています。本計画は、教育環境の質的改善や、施設の改修・更新に要するコストの縮減及び平準化を考慮しつつ、安全・安心かつ快適な学校施設を今後も継続して確保していくための、改修・更新をすすめるものです。	1件

（２）学校施設等の状況把握

0件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
		0件

（３）学校施設整備の基本的な方針等

1件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
・無理に学校と公共施設を融合させることを想定しているような項目は、全て削除するか交野市は庁舎や公共サービス施設について「こんな風に考えてますよ」程度の説明にとどめるべきである。主だった施設は、新しく新設する庁舎に統合的に集約することが、災害時の対応や普段の利便性からみて有利であるからで、学校に公共施設を併設すると駐車場の問題や学校セキュリティの観点から無理	本市では、すでに放課後児童会機能や防災備蓄機能などが学校施設と複合化されているほか、学校施設は、災害時の避難所に指定されていたりするなど、様々な役割を担っており、今後ますます地域の拠点として活用されることが期待されます。	1件

<p>が多すぎるからである。</p> <p>学校を含む市内の公共施設の全てを、集約再編し近隣道路の整備や新駅増設までも考慮した100年後を考えた構想ではないのであれば、この素案には全く無関係な事であるので削除するべきである。</p>	<p>今後、学校施設整備を実施する際には、学校教育活動を行うための場であることを前提に、地域の力を教育に活かしたり、地域の方々も利用しやすい施設整備を検討していく必要があります。</p>	
--	---	--

(4) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等 0件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
		0件

(5) 学校施設整備の実施計画 2件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・一貫校の建設費用についても具体性がない。設備や周辺整備、工事中の方法などすでに決まっているのか？もし決まっているのであれば、学校規模適正化基本計画素案に反映させるべき事柄である。開示し再び市民にコメントを請うべきである。 ・小中一体型の学校建設にたくさんの税金を使うのではなく、老朽化している一中だけの対策を考えてください。 	<p>学校施設整備等につきましては、今後、学校や保護者、地域の方々とともにワークショップ等を実施し、多くの方の思いを学校施設整備に反映させるよう、他の自治体の取組みも参考にしながら、検討が必要と考えます。</p> <p>学校施設の老朽化は、すべての市立小中学校で課題となっています。学校施設の改修・更新にあたっては、施設の老朽化状況からみて設定する保全優先度を基本としつつ、将来にわたって良好な教育環境を確保するための学校適正配置の方向性を加味しながら決定することとなります。</p>	2件

(6) その他の施設（橋梁） 0件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
		0件

(7) 計画の継続的運用方針

0件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
		0件

(8) 計画（素案）全体について

2件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
<p>・試算表について、どの表もお金がかかるのはわかるが、微妙にニュアンスを前半に偏らせている向きがある。学校規模適正化基本計画素案との整合性がない部分がある。</p> <p>・試算①から⑤までの5つの見積もりが挙げられていますが、これらは現行の14学校(⑤は一体校を除く11校)すべてを将来的に建て替える前提であり、現実的ではありません。30年後、児童生徒数が今の6割にまで減っているのに、14校(同11校)は必要ありません。このような非現実的な見積もりに基づいて長期の計画を進めるのはいかなものかと思えます。今後10年で、④は全校に対し部分改修と改築を、⑤は一体校の新築と他校の改築を進める案ですが、④に関して、すでに小規模校と化している長小を速やかに廃校にすれば、改修も改築もする必要がなく、95億円を下回る予算で可能になり、貴重な予算をより有効的に使うためにも、④案を支持し、一体校を含む他の案に反対をいたします。</p>	<p>本計画（素案）では、学校施設のさまざまな試算条件の違いによる5つの試算を記載しています。試算①から④は、現状の市立小中学校14校すべてを平成70年度まで維持すると仮定した場合の試算であり、試算⑤は第一中学校区で施設一体型小中一貫校を整備し、整備後は11校を維持すると仮定した場合の試算となっています。</p> <p>今後の学校施設の整備方法・時期は、使用年数も視野に入れ、良好な教育環境の確保と学校適正配置の方向性を加味して決定することとしているため、具体的な学校適正配置の方向性が定まり次第、適宜試算しなおすものです。</p> <p>なお、本市の学校施設は今後一斉に更新時期を迎えるため、多額の費用が必要になると見込まれることから、財政負担の縮減・平準化を考慮しつつ、長期的な観点で計画的な施設整備が必要となります。</p>	2件

(9) その他

4件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	件数
<p>・今後災害の頻発が予想される中で、地域の避難所として、今ある小中学校の校</p>	<p>本計画は、すべての市立小中学校において安全・安心</p>	4件

<p>舎を補強（耐震など）することの方が大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対策については、1中校区だけが急務であるとは読み取れない。 ・余ったお金を保育所増設へ回してください。市民の要望をよく聞いて、税金の使い方を考えてください。 ・交野の教育をもっと良いものにしてほしい税金（予算）をもっと教育に使ってほしい。公共施設の費用削減ありきの統廃合、小中一貫校には反対です。 	<p>かつ快適な学校施設を今後も継続して確保していくことを目的としています。</p> <p>学校施設の老朽化は、市立小中学校の大半が築後 30 年以上経過し、課題となっているため、本計画をもって、今後の学校施設整備を計画的にすすめるためのものです。なお、学校施設の耐震補強工事については、平成 24 年度に全校実施済みであり、防災機能強化工事などの改修を、必要に応じて進めてまいります。</p>	
--	---	--